

# 研究成果情報

令和3年度

成熟期が早く、多収の小麦品種「夏黄金(なつこがね)」の生育特性及び品質特性		
[要約] 「夏黄金」は「ゆきちから」と比較して、成熟期が3日早く、 <u>多収</u> であり、生地の伸張抵抗が強く <u>製パン適性</u> に優れる <u>硬質小麦品種</u> である。		
新潟県農業総合研究所作物研究センター 栽培科	連絡先	TEL 0258-35-0836 FAX 0258-35-0021

## [背景・ねらい]

県内では小麦「ゆきちから」の作付面積が増加し、パンや麺に加工され農業の6次産業化に貢献している。しかし、成熟期が梅雨のため、刈遅れや収量・品質が低下する事例が見られる。

そこで、「ゆきちから」に比べ成熟期が早く欠点を補えると見込まれる農研機構育成新品種「夏黄金」の県内における適応性を把握し、早期導入により県産小麦の安定生産を図る。

## [内容]

- 1 「夏黄金」は農研機構東北農業研究センターで平成28年に育成された硬質小麦品種である。
- 2 出穂期は5月2日で「ゆきちから」より1日早い。成熟期は6月12日で「ゆきちから」より3日早く、平均梅雨入り日の6月12日頃にかかるものの、長雨による刈取りの遅れや降雨による子実成分の変性を回避しやすい(表1)。
- 3 稈長は94cmで「ゆきちから」より5cm短く、穂長は9.3cmでやや長い。穂数は473本/m<sup>2</sup>でほぼ同数である(表1)。
- 4 耐雪性は中、耐倒伏性はやや強、穂発芽性は難である(表1)。
- 5 子実重は537kg/10aで、「ゆきちから」より多収である。容積重は851g/L、千粒重は40.1gで、「ゆきちから」より大きい。原麦粒の見かけの品質は同程度である(表1)。
- 6 エキステンソグラムの生地伸張抵抗は「ゆきちから」より明らかに強く、伸張度は同程度で、焼き上がりの比容積が大きく製パン特性に優れている(表2)。

## [導入効果]

収量性が高く、製パン・製麺特性に優れた小麦の生産ができる。

## [導入対象]

県内の少・中積雪地域小麦生産者

## [留意点]

- 1 耐雪性が中であるため、根雪期間が概ね90日未満の地域で栽培する。
- 2 水田転換畑で栽培する場合は、ほ場排水対策を確実に実施できるよう、水稻収穫から小麦は種までの期間を考慮し、水稻早生品種等と組合せた作付計画を策定する。
- 3 種子は農研機構育成品種の下記の種苗入手先リストを参照する。

[http://www.naro.affrc.go.jp/collab/breed/seeds\\_list/index.html](http://www.naro.affrc.go.jp/collab/breed/seeds_list/index.html)

[具体的データ]

表1 小麦「夏黄金」の生育特性及び原麦品質

品種名	夏黄金	ゆきちから(標準)
出穂期(月/日)	5/2	5/3
成熟期(月/日)	6/12	6/15
稈長(cm)	94	99
穂長(cm)	9.3	8.9
穂数(本/m <sup>2</sup> )	473	484
芒の有無・多少	かなり少	かなり少
ふ色	赤褐	黄
耐雪性	中	やや強
耐倒伏性	やや強	やや強
穂発芽性	難	中
赤かび病抵抗性	中	やや弱
子実重(kg/10a)	537	454
対標準比率(%)	118	100
容積重(g/L)	851	834
千粒重(g)	40.1	39.5
粒色	赤褐	赤褐
粒質	硝子質	硝子質
原麦粒の見かけの品質	中上	中上
試験年度	平成 29～令和元年度	

注1 調査地は農業総合研究所作物研究センター普通畑。10月1日を基準は種期とした条播。

注2 原麦粒の見かけの品質は上上一下の7段階評価。

表2 小麦「夏黄金」の品質特性

品種名	夏黄金	ゆきちから(標準)
原粒灰分含量(%)	1.83	1.80
原粒粗蛋白質含量(%)	11.4	11.7
製粉歩留(%)	70.3	69.9
ミリングスコア	79.3	80.2
60%粉灰分含量(%)	0.49	0.47
60%粉粗タンパク質含量(%)	10.4	10.6
粉の明度(L*)	88.3	88.1
粉の赤み(a*)	0.25	0.25
粉の黄色み(b*)	13.0	12.7
吸水率(%)	63.3	63.6
製パン試験比容積(ml/g)	4.5	4.0
バロリメーターバリュー	69	56
生地の伸張抵抗(B.U.)	496	257
生地の伸張度(mm)	214	193
最高粘度(B.U.)	881	870
試験年度	平成 29～30 年度	

注1 原粒灰分含量及び原粒粗タンパク質含量は水分 12.5%換算値。

注2 60%粉灰分含量及び 60%粉粗タンパク質含量は水分 13.5%換算値。

注3 成分分析値は平成 29～令和元年度(東北農業研究センター調査)。

[その他]

研究課題名: 麦類優良品種選定事業

予算区分: 県単事業

研究期間: 平成 29～令和元年度

発表論文等: 川上ら(2020)、新潟県農業総合研究所研究報告第 18 号